

# News Release

## 国内最大の“顔の見える”ネットワーク 「クリエイティブクラスター」の登録数が800件を突破

～ 6年6か月かけ、幾重にも繋がったネットワークが競争や協働のベースに ～

クリエイター支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」(所在地:大阪市北区 所長:堂野 智史)は、現役クリエイターと一緒にクリエイティブ企業や個人クリエイターを訪問、顔の見えるクリエイターだけを登録している「クリエイティブクラスター(<http://www.mebic.com/cluster/>)」のサイト登録数が、10月23日に800件を突破しました。顔の見える関係性は、メビック扇町で頻繁に行われているミーティングやセミナー、交流会などへの参加を促進し、クリエイターたちの成長意欲や10年間で1,589件を超える協働につながっています。

### ■さまざまなジャンルが集まるクリエイティブクラスター

ITツールの普及により、顔を合わせなくても仕事ができる環境が整い、普段の仕事の中でクリエイター同士が顔を合わせることが年々減少しています。その一方、クライアント企業のニーズは多様化しており、1社の専門分野だけでは対応できないケースが増えてきています。

クリエイティブクラスター活動では、大阪全域の、IT、デザイン、イラスト、ライティング、編集、広告企画、写真、映像、音楽、出版、印刷など幅広いクリエイティブジャンルの企業や個人クリエイターを訪問。協働のベースになる、クリエイター同士が本音で語り合える関係の構築を目指しています。



クリエイター同行で事業所を訪問

### ■“顔の見える”関係から協働が生まれる

クリエイティブクラスターの登録に先駆け、コーディネーターの委嘱を受けた現役のクリエイターがメビック扇町のスタッフに同行して一社一社を直接訪問しています。クリエイティブワークや経営などについて意見交換することでクリエイター同士の関係を深め、ミーティングやセミナー、交流会などのイベントへの参加を促進。あるときは競争し、あるときは協力しながら、ともに成長していく事業環境が整いつつあります。

メビック扇町ではこれまで10年間で1,589件の協働事例が生まれていますが、幾重にもつながった全国最大規模のクリエイターの“顔の見える”ネットワークがそのベースになっています。

### クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町とは

メビック扇町は、2003年5月に大阪市経済局が設置し、公益財団法人大阪市都市型産業振興センターが運営するクリエイター支援施設です。2007年4月より「クリエイティブクラスター創生事業」を開始。メビック扇町では、大阪で活動するクリエイターたちが互いに知り合い、顔の見える関係を築くための新しいコミュニティづくり、大阪に集積するクリエイティブ関連企業の活性化に取り組んでいます。

